

ワイタンギ条約は1840年2月6日に最初に調印されました。この条約は Te Tiriti o Waitangi (テ・ティリティ・オ・ワイタンギ)と名付けられマオリ語で書かれました。以下は合意された主な項目です。

# ワイタンギ条約概要

## 序章

英国女王はマオリのリーダー、ニュージーランドの人々が土地と独立を維持すること、すべての人が平和に共存することを望んでいます。この協定は現在ニュージーランドにいる彼女の国民と、将来やってくる人々のために総督(知事)を置くことです。

## 第3条

英国女王はマオリの人々を配慮し、イギリス国民と同様の権利を提供する。

## 第1条

マオリリーダーは彼らの土地に、英国女王が総督(知事)を置く権利を永久に与える。

## 第2条

英国女王はマオリの独立と権利を維持し、土地を含めマオリにとって重要なものすべてをマオリが管理することに同意する。マオリリーダーは英国女王に、地主が土地を売りたい場合は合意の値段で土地を買う権利を与える。

## 第4条 (口約束)

総督(知事)はマオリの習慣や様々な信仰を保護することを約束する。



# TE TIRITI O WAITANGI

# ワイタングィ条約概要

ワイタングィ条約は1840年2月6日に最初に調印されました。この条約は **Te Tiriti o Waitangi** (**テ・ティリティ・オ・ワイタングィ**)と名付けられマオリ語で書かれました。以下は合意された主な項目です。

## 序章

英国女王はマオリのリーダー、ニュージーランドの人々が土地と独立を維持すること、すべての人が平和に共存することを望んでいます。この協定は現在ニュージーランドにいる彼女の国民と、将来やってくる人々のために総督(知事)を置くことです。

## 第1条 KO TE TUATAHI

マオリリーダーは彼らの土地に、英国女王が総督(知事)を置く権利を永久に与える。

## 第2条 KO TE TUARUA

英国女王はマオリの独立と権利を維持し、土地を含めマオリにとって重要なものすべてをマオリが管理することに同意する。マオリリーダーは英国女王に、地主が土地を売りたい場合は合意の値段で土地を買う権利を与える。

## 第3条 KO TE TUATORU

英国女王はマオリの人々を配慮し、イギリス国民と同様の権利を提供する。

## 第4条 (口約束)

総督(知事)はマオリの習慣や様々な信仰を保護することを約束する。



# Te Tiriti o Waitangi (テ・ティリティ・オ・ワイタンギ) マオリ語と英語文書の相違点

このページでは、各資料から主なポイントを紹介します

	Te Tiriti o Waitangi	英語文書
<b>第1条</b>	マオリリーダーは彼らの土地に、英国女王が総督(知事)を置く権利を永久に与える	マオリはニュージーランドの全権を英国女王に委ねる
<b>第2条</b>	英国女王はマオリの独立と権利を維持し、土地を含めマオリにとって重要なものすべてをマオリが管理することに同意する。マオリリーダーは地主が土地を売りたい場合は合意の値段で英国女王に土地を買う権利を与える	英国女王は土地、森林、漁場に関するすべてのマオリの権利を保障する。土地の売買は女王に対してのみ認められる
<b>第3条</b>	英国女王はマオリの人々を配慮しイギリス国民と同様の権利を提供する	英国女王はマオリを保護し、イギリス国民と同様の権利を与えられる
<b>第4条 (口約束)</b>	総督(知事)はマオリの習慣や様々な信仰を保護することを約束する	英語版での第4条は存在しません

## 実際に条約が結ばれたのはどちらでしょうか？

Te Tiriti o Waitangi	英語文書
500人以上のマオリリーダーと英国女王の代理として総督(知事)によって調印	39人のマオリリーダーによって調印
この条約は国際法で認められている条約です。国際法では、 <i>contra proferentem</i> (コントラプロフェレンタム)と呼ばれるルールにより、マオリの文が優先されます。これは、契約が明確でない場合、契約を申し出た側に不利に解釈されるべきであることを意味します	これは英国の要望による条約 ニュージーランド政府公認
この条約はニュージーランドでのマオリの権利を維持します	本編は女王に全権を委ねる



